

## 英語を話せるようになるには？

3年B組 森崎桃香

私が最近考えたことは、「どうしたら英語をスラスラ話せるようになるのか。」ということです。これからの時代は、特に英語が必須になってくると思います。私も将来は色々な国へ行き、働いてみたいとも思っています。そのためには、世界で通用する英語を話せないといけません。そこで、私は考えました。どうしたら英語をスラスラ話せるようになるのかと。

そしてあるとき、私はスピードラーニングのCMを見ました。スピードラーニングとは、聞き流すだけで英語を話せるようになるというものです。そのCMには、プロゴルファーの石川遼選手などのたくさんの人の体験談がいくつもありました。その体験談の中には、「1年くらい聞いていたら、外国人の会話が分かるようになった。」「ラジオの英語が聞き取れるようになった。」などと効果があったという声ばかりでした。そして、私も一カ月試してみました。ですが、短い時間というのもあり、中々覚えられず、私的には効果がありませんでした。

そこで、まずは英語の歌を歌ってみようと思い、Let it go という歌を歌えるようになるかやってみました。やり方は、まず英語を聞く。それをそのままカタカナに直す。そのカタカナに直したものを歌う。そして、歌えるようになってきたら、本当の英語の発音に直す。このようなやり方で試してみました。すると、毎日30分練習しただけで、1週間で覚えられました。好きな歌だったというのもありましたが、英語の歌を1曲丸々歌えるようになったというのは、とても達成感がありました。私はこのようなことを試してみて学んだこと、分かったことが4つあります。

1つ目は、好奇心を持って取り組むことが大事だということです。英語を話せるようになりたいのなら、まずは英語を好きになり、興味を持つことが大事なのだと思います。英語に限らず、すべてにおいてそうです。好きでもなく、興味もなかったら、やろうという意欲も湧かないし、やったとしても続きもしません。

2つ目は、英語は聞き流せばいいというわけではないことです。聞き流すということは、言葉を覚える上では非常に重要なことです。ですが、それだけで満足してはいけません。聞いて、理解して、発音して、用いて、効果が出るのです。

3つ目は、本場の英語を聞くことです。常に英語に触れ、話す環境を作れば良いと思います。言葉は聞いて覚えるものです。きちんとした勉強をしていなくても、母国語を話せるのは、周りの環境から聞き取って、脳が学習しているからです。だから、日本人でも赤ちゃんの頃から外国にいたら、大人になれば英語を話せるようになるのだと思います。私の家の近所の方が妹さんについて話してくださいました。その妹さんは、港に行って、外国から来た外国人に自ら話しかけに行っていたそうです。そうして、外国人と話すことによって、話せるという嬉しさが湧き、もっと話せるようになりたいと思い、一生懸命勉強していたそうです。今では、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語などを話せるようになったとおっしゃっていました。

4つ目は、継続することです。テレビを見ていたら、ある大学の英語の先生が「英語はスポーツや音楽に近いものだ。」と言っていました。プロのアスリートは、毎日何時間も、何度も繰り返し練習をしています。そして、大会などで練習の成果を発揮し、メダルを獲得したりして、記録を残しています。それが、英語が話せるようになるまでと似ているのだと思います。技術も必要ですが、練習するということが非常に重要だと思います。出来るようになるまで練習し、それを継続していくことが英語を話せるようになるという上で大事なことのだと



思います。

このように、英語を話せるようになるために大事なこと、やらなければならないことがいくつもありました。私は将来、世界で活躍していきたいです。そして、世界中の国々を訪れ、色々な国の異文化にも触れていきたいです。ですが、世界で通用する英語を話せるようになるのは、決して簡単なことではありません。これから、大変なことがたくさんあると思いますが、自分の夢に向かって、精一杯努力していきたいです。